

お客さま本位の業務運営の取組状況 (フィデューシャリー・デューティー)

玉島信用金庫は、資産運用関連業務におけるお客さま本位の業務運営を実践するために、2017年9月に「お客さま本位の業務運営(フィデューシャリー・デューティー)に関する取組方針について」を公表しました。

この取組方針のもと、当金庫はお客さまの安定的な資産形成および資産運用のお手伝いをしていくとともに、お客さまのニーズに合わせた質の高い金融サービスを提供し、信頼に応えられるよう努めてまいります。

このたび、2023年度の取組状況を、以下のとおり掲載いたします。

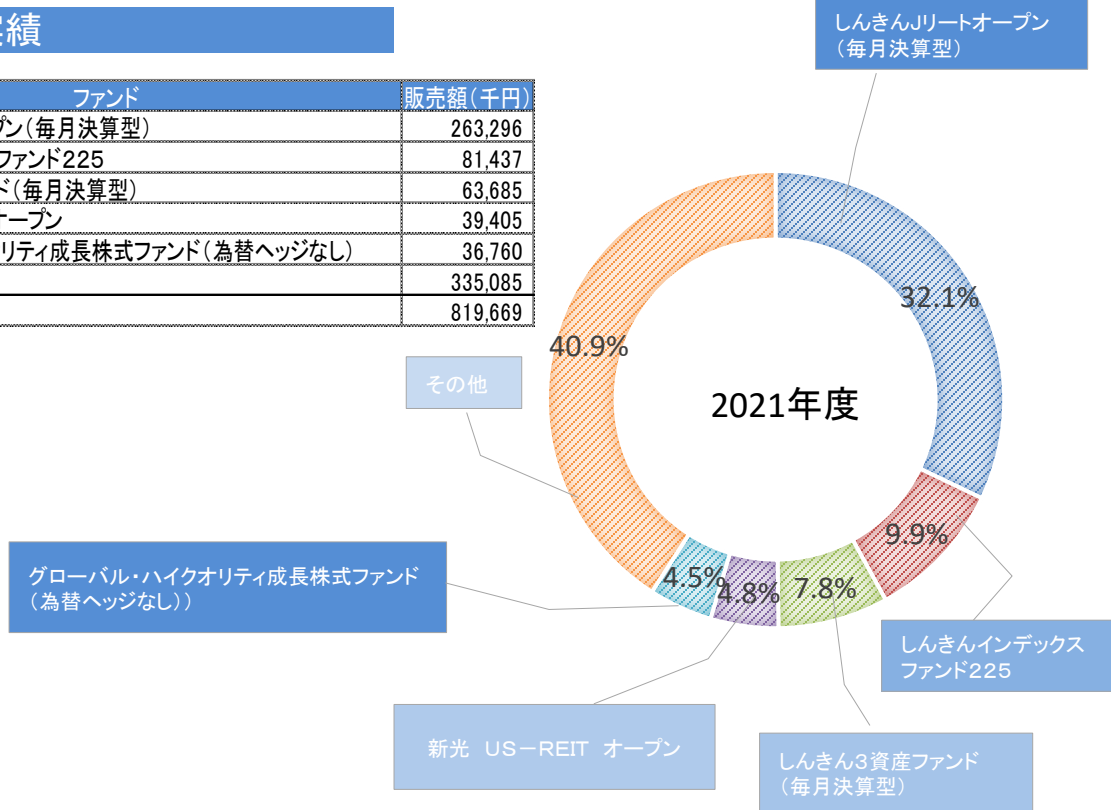


玉島信用金庫
Tamashima Shinkin Bank

投資信託販売実績の推移

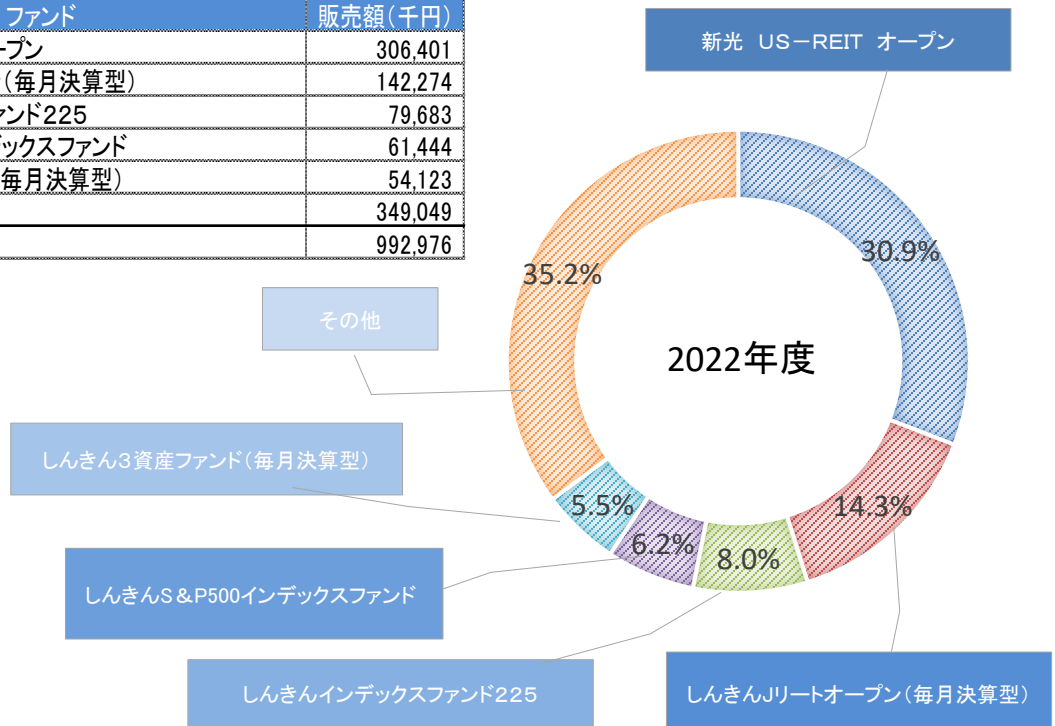
2021年度販売実績

順位	ファンド	販売額(千円)
1位	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	263,296
2位	しんきんインデックスファンド225	81,437
3位	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	63,685
4位	新光 US-REIT オープン	39,405
5位	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)	36,760
6位以下	その他	335,085
合計		819,669



2022年度販売実績

順位	ファンド	販売額(千円)
1位	新光 US-REIT オープン	306,401
2位	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	142,274
3位	しんきんインデックスファンド225	79,683
4位	しんきんS&P500インデックスファンド	61,444
5位	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	54,123
6位以下	その他	349,049
合計		992,976

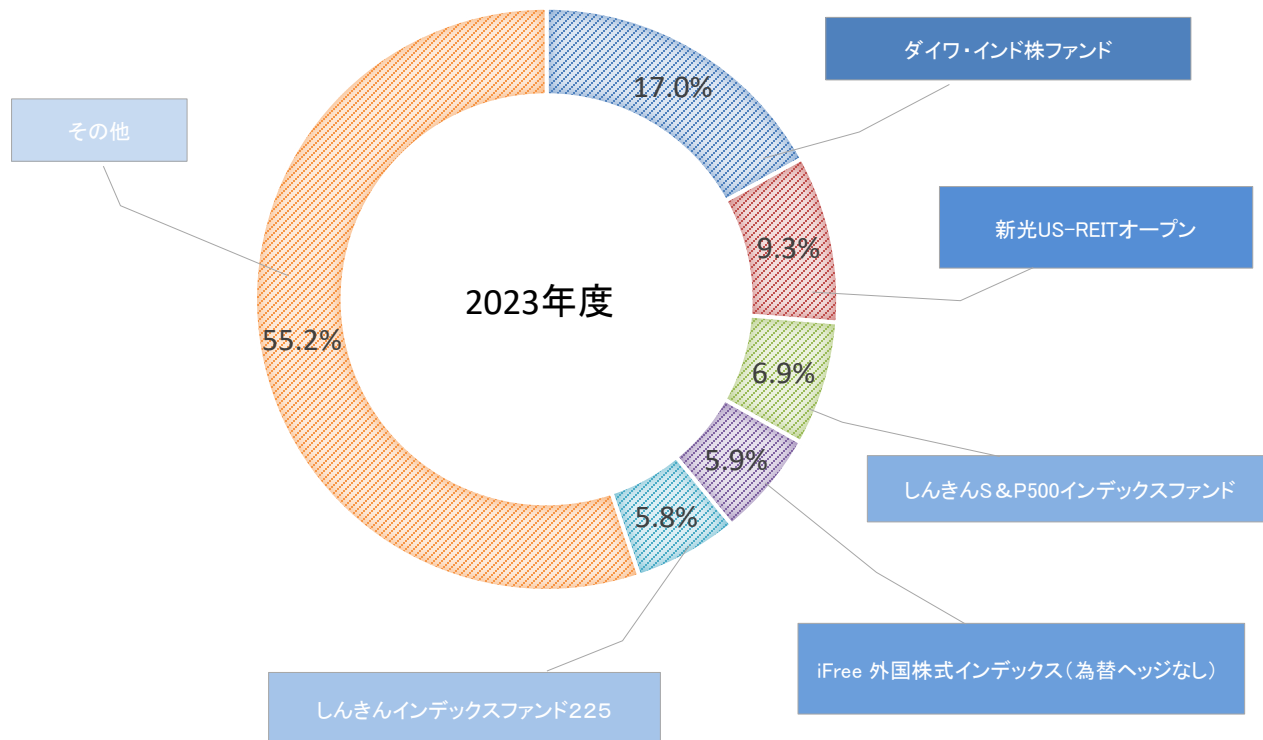


※単位未満を切り捨てて掲載しております。そのため合計が合致しない場合がございます。

投資信託販売実績の推移

2023年度販売実績

順位	ファンド	販売額(千円)
1位	ダイワ・インド株ファンド	194,697
2位	新光 US-REIT オープン	106,372
3位	しんきんS&P500インデックスファンド	78,624
4位	iFree 外国株式インデックス(為替ヘッジなし)	67,433
5位	しんきんインデックスファンド225	67,024
6位以下	その他	633,446
合計		1,147,597

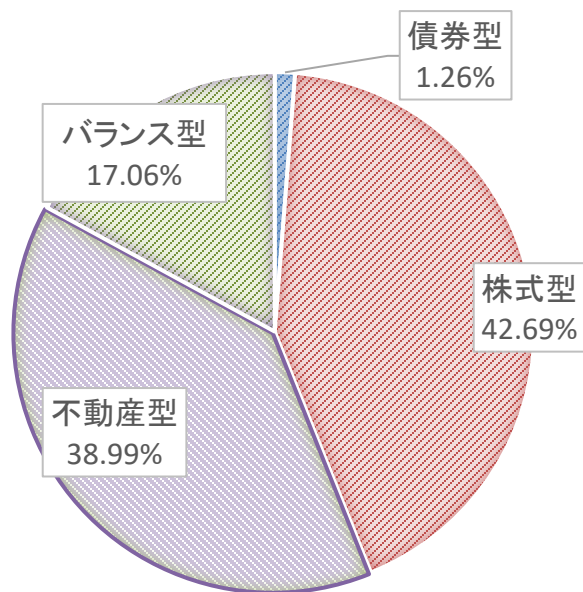


- ・2023年度は、お客さまがインドに対する中長期的な経済や企業業績への成長を期待したことから、「ダイワ・インド株ファンド」が販売実績の上位となりました。また、2024年1月から始まった新NISA制度をきっかけに、長期・分散・積立による資産形成のニーズが高まり、「iFree外国株式インデックス(為替ヘッジなし)」が上位になるなど、お客さまの意向や目的に合わせた最適な商品を提案しております。
- ・今年度は17ファンドの新規取扱いを開始し、お客さまの多様なニーズに的確にお応えできるように商品の充実を図っております。
- ・お客さまの要望に沿った資産形成および資産運用の一助となるよう、幅広い情報を提供してまいります。

※単位未満を切り捨てて掲載しております。そのため合計が合致しない場合がございます。

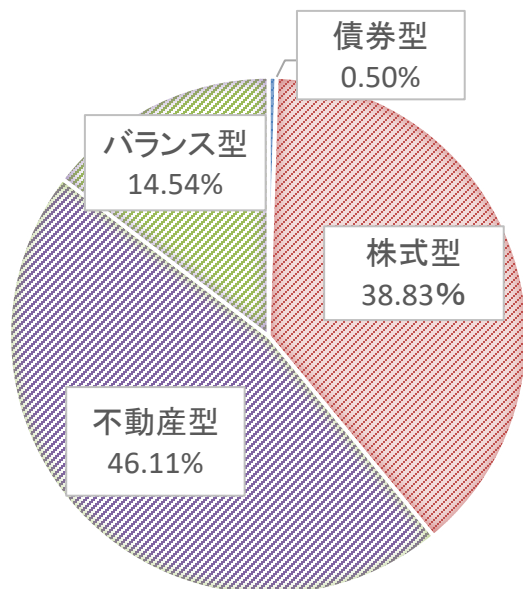
投資対象別販売実績の推移

2021年度販売実績



区分	ファンド数	金額(千円)	割合
株式型	17	349,947	42.69%
うち、国内	6	144,988	17.69%
うち、国外	6	83,116	10.14%
うち、国内外	5	121,843	14.86%
不動産型	6	319,571	38.99%
うち、国内	2	276,176	33.69%
うち、国外	2	41,485	5.06%
うち、国内外	2	1,910	0.23%
バランス型	9	139,819	17.06%
うち、国内	2	12,134	1.48%
うち、国外	0	0	0.00%
うち、国内外	7	127,685	15.58%
債券型	8	10,330	1.26%
うち、国内	3	4,970	0.61%
うち、国外	3	4,000	0.49%
うち、国内外	2	1,360	0.17%
合計	40	819,669	100.00%

2022年度販売実績

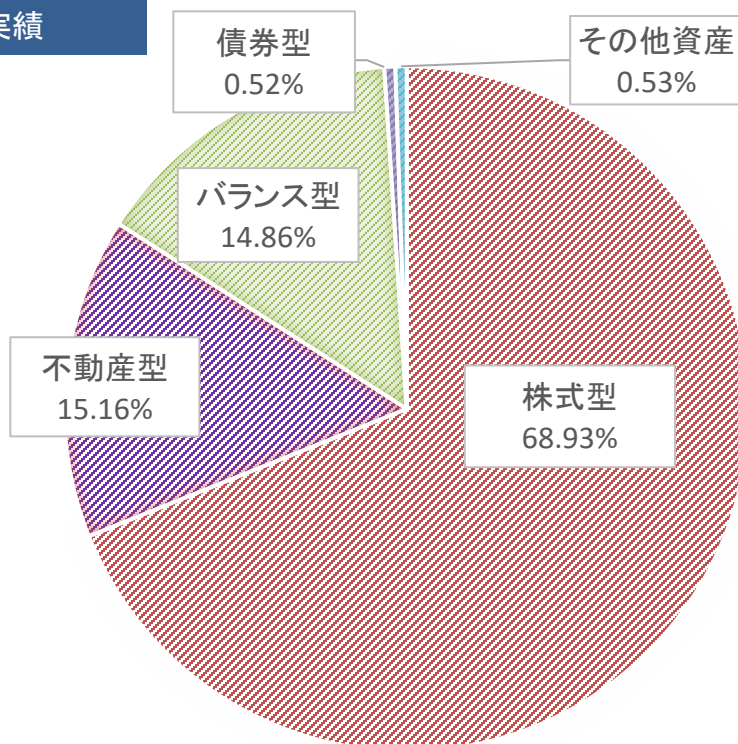


区分	ファンド数	金額(千円)	割合
株式型	28	385,658	38.83%
うち、国内	9	116,693	11.75%
うち、国外	11	211,241	21.27%
うち、国内外	8	57,724	5.81%
不動産型	6	457,925	46.11%
うち、国内	2	146,384	14.74%
うち、国外	2	307,821	31.00%
うち、国内外	2	3,720	0.37%
バランス型	14	144,362	14.54%
うち、国内	2	2,140	0.22%
うち、国外	1	0	0.00%
うち、国内外	11	142,222	14.32%
債券型	16	5,030	0.50%
うち、国内	3	4,250	0.43%
うち、国外	11	450	0.05%
うち、国内外	2	330	0.03%
合計	64	992,976	100.00%

※単位未満を切り捨てて掲載しております。そのため合計が合致しない場合がございます。

投資対象別販売実績の推移

2023年度販売実績



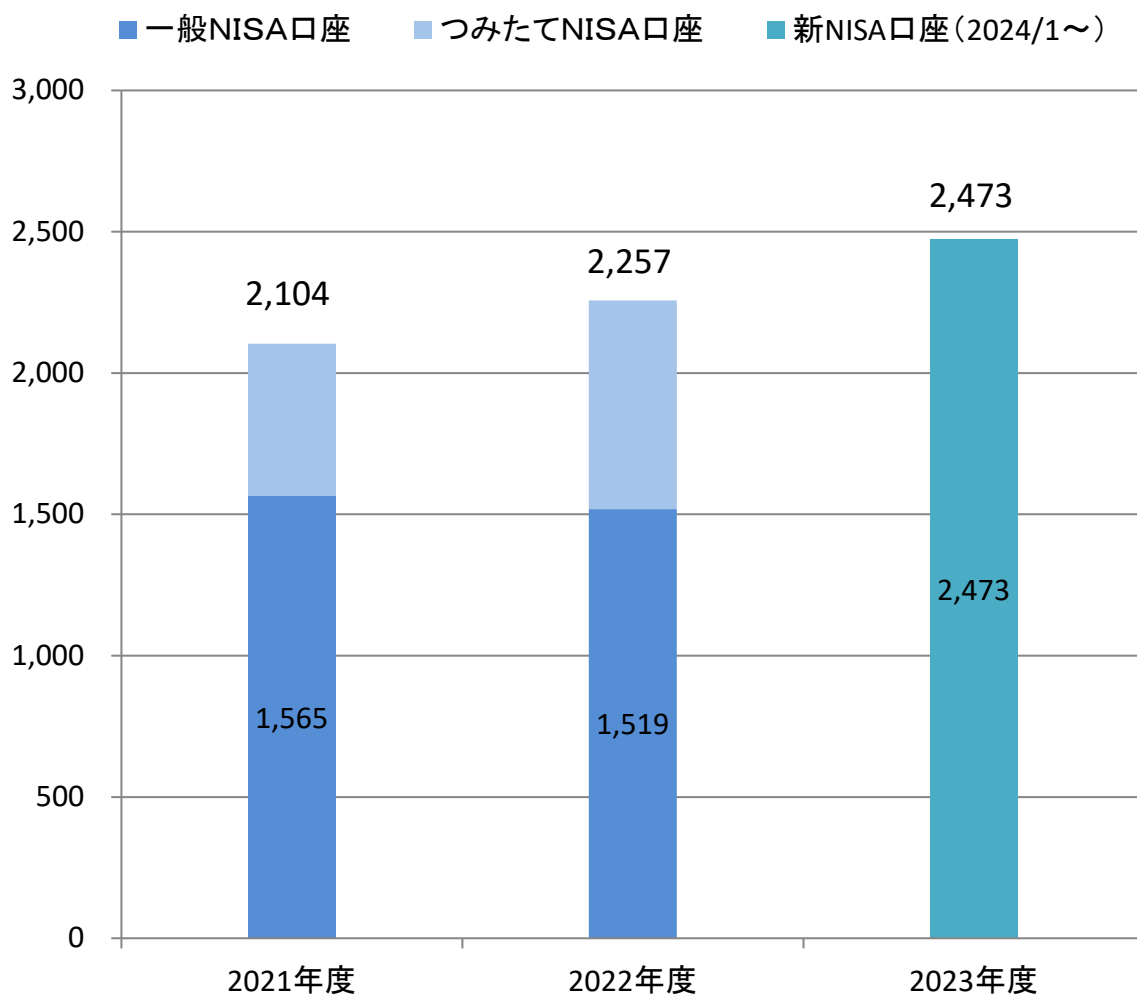
区分		ファンド数	金額(千円)	割合
株式型		35	791,069	68.93%
	うち、国内	12	173,265	15.10%
	うち、国外	12	489,148	42.62%
	うち、国内外	11	128,655	11.21%
不動産型		9	173,934	15.16%
	うち、国内	3	63,469	5.53%
	うち、国外	3	107,802	9.39%
	うち、国内外	3	2,662	0.23%
バランス型		16	170,537	14.86%
	うち、国内	2	1,247	0.11%
	うち、国外	1	200	0.02%
	うち、国内外	13	169,089	14.73%
債券型		20	5,936	0.52%
	うち、国内	3	2,244	0.20%
	うち、国外	13	2,861	0.25%
	うち、国内外	4	830	0.07%
その他資産		1	6,120	0.53%
	うち、国内	0	0	0.00%
	うち、国外	0	0	0.00%
	うち、国内外	1	6,120	0.53%
合計		81	1,147,597	100.00%

- ・2023年度は、世界の株式市場が好調であったことで、お客さまの株式への選好が強まり、株式型投信の販売が多くなりました。株式型投信の中でも、海外を投資対象とするファンドを購入されるお客さまが増加しました。
- ・いずれのアセットクラスにおいても、海外を投資対象に含むファンドの販売比率が高まっています。

す。

NISA口座数の推移

	2021年度	2022年度	2023年度
一般NISA口座	1,565	1,519	－
つみたてNISA口座	539	738	－
新NISA口座(2024/1～)	－	－	2,473
合計	2,104	2,257	2,473



・2024年から始まった新NISA制度をきっかけに、当金庫で資産運用を開始されるお客さまが増加しています。

・今後もお客さまのライフプラン等を踏まえた最適な商品・サービスの提供や適切なフォローアップに努め、お客さまの資産形成および資産運用をサポートいたします。

共通KPI

・金融庁が2018年6月に公表した「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI(以下、共通KPI)」に基づき、2024年3月末で算出した数値を公表いたします。

「投資信託運用損益別顧客比率」

「投資信託預かり残高上位20銘柄」

「投資信託の預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン」

「投資信託の預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン」

投資信託運用損益別顧客比率

投資信託を保有しているお客さまについて、基準日時点の保有投資信託に係る購入時以降の累積の運用損益(手数料控除後)を算出し、運用損益別にお客さまの比率を示した指標です。

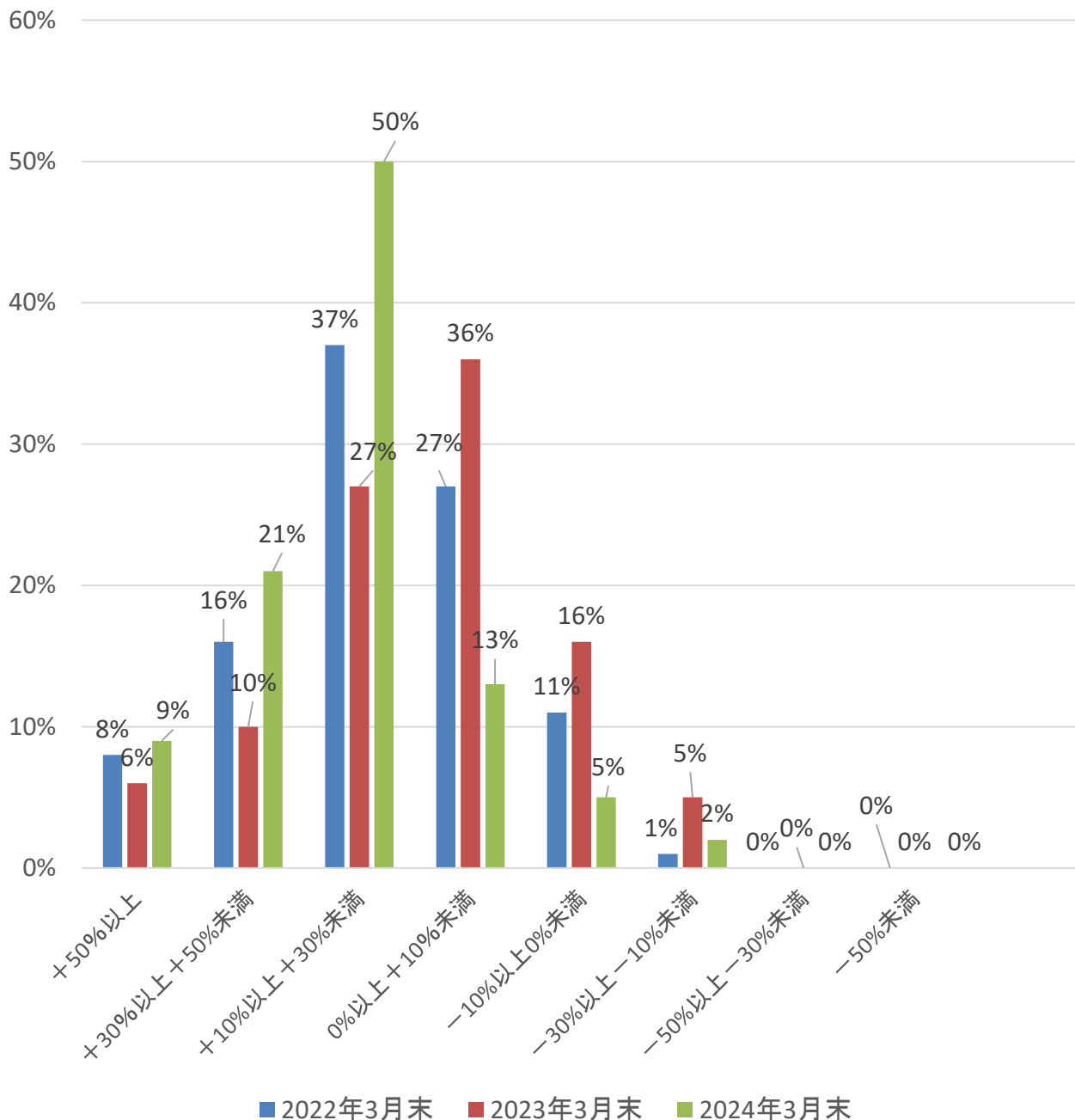
投資信託の預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン

- ・設定後5年以上の投資信託の預かり残高上位20銘柄について、銘柄毎及び残高加重平均のコストとリターンの関係を示した指標です。
- ・この指標は中長期的に、どのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに提供してきたかを見ることができます。

投資信託の預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン

- ・設定後5年以上の投資信託の預かり残高上位20銘柄について、銘柄毎及び残高加重平均のリスクとリターンの関係を示した指標です。
- ・この指標は中長期的に、どのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに提供してきたかを見ることができます。

投資信託運用損益別顧客比率



2024年3月末の運用損益別顧客比率において、運用収益がプラス(0%以上)のお客さまは92%、運用収益がマイナス(0%未満)のお客さまは8%となりました。前年同月末と比較し、運用収益がマイナス(0%未満)のお客さまは、13%減少しております。要因としては、米国の金融引き締め長期化懸念や、米国・中国の景気先行き懸念などを背景に、下落局面に転じる場面があったものの、米国やユーロ圏で政策金利が据え置かれたことやインフレ鈍化を示唆する経済指標等を好感し、米欧の長期金利が低下に転じたことなどから、世界株式が上昇に転じたことが考えられます。

投資信託預かり残高上位20銘柄の詳細

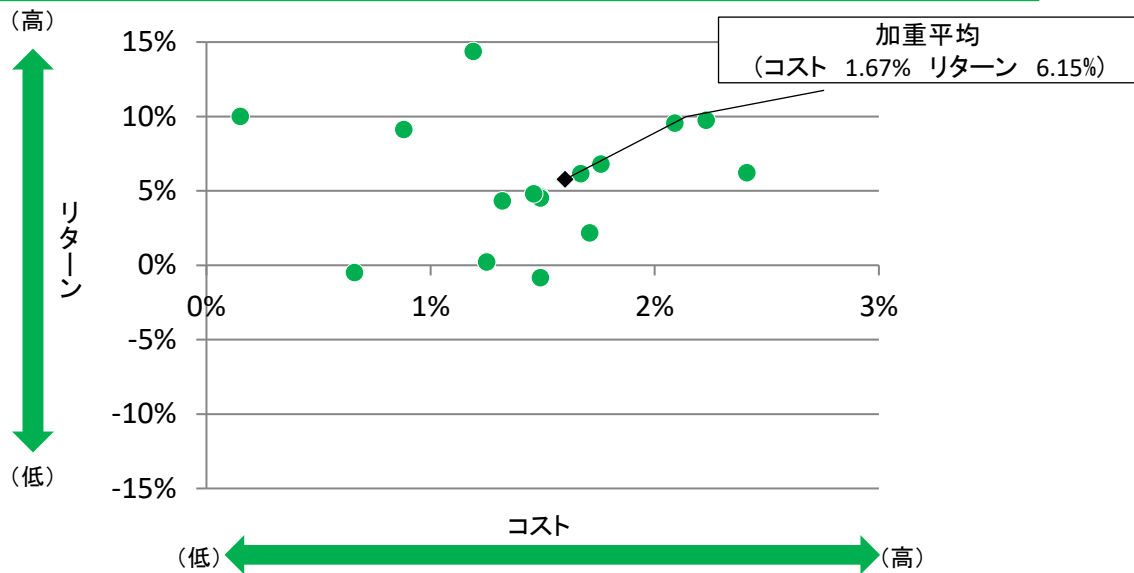
2024年3月末時点

銘柄名	コスト	リスク	リターン
① 新光 US-REIT オープン	2.23%	18.42%	7.66%
② しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	1.49%	9.24%	6.82%
③ しんきんJリートオープン(毎月決算型)	1.49%	14.90%	0.65%
④ しんきんインデックスファンド225	0.88%	17.00%	14.87%
⑤ ダイワ・インド株ファンド	2.51%	22.13%	17.34%
⑥ iFree 外国株式インデックス(為替ヘッジなし)	0.21%	17.19%	19.81%
⑦ グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	1.71%	5.52%	3.47%
⑧ しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)	1.60%	10.84%	7.30%
⑨ iFree 日経225インデックス	0.15%	17.03%	15.84%
⑩ たわらノーロード バランス(8資産均等型)	0.14%	10.00%	8.12%
⑪ しんきん好配当利回り株ファンド	1.32%	14.72%	13.95%
⑫ しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型)	2.09%	21.59%	13.74%
⑬ 三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド(為替ノーヘッジ型)	1.19%	17.31%	17.35%
⑭ 三井住友・グローバル・リート・オープン	2.41%	21.00%	4.04%
⑮ グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)	2.31%	20.36%	18.45%
⑯ iFree S&P500インデックス	0.20%	17.20%	22.05%
⑰ グローバルAIファンド	2.59%	27.67%	22.74%
⑱ DIAM世界3資産オープン(毎月決算型)	1.76%	13.75%	7.79%
⑲ 東京海上・円資産バランスファンド(年1回決算型)	1.25%	3.81%	-1.09%
⑳ しんきん公共債ファンド	0.66%	1.28%	-0.85%

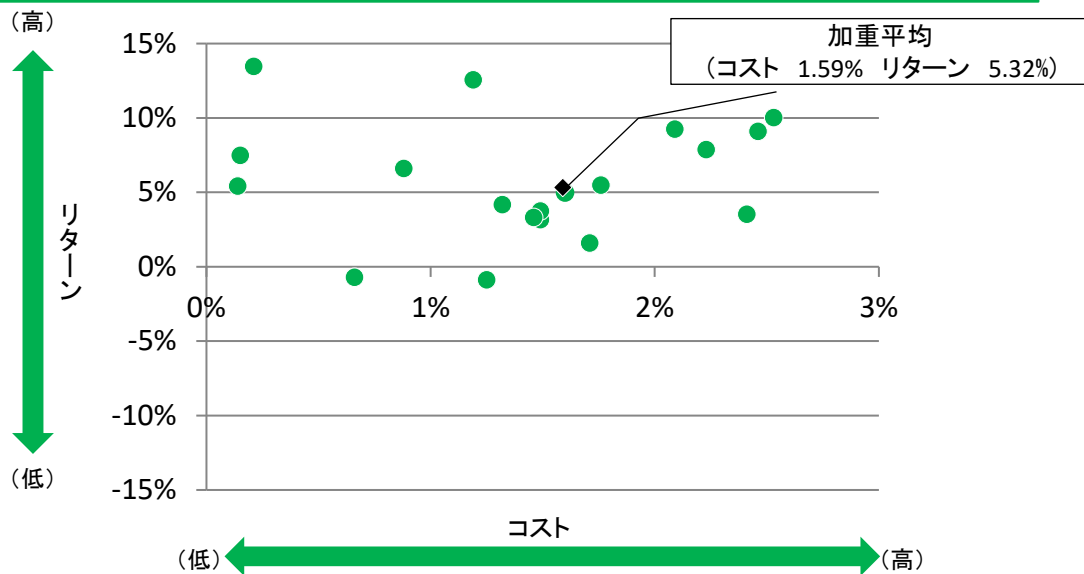
残高加重平均	コスト	リスク	リターン
	1.54%	14.84%	8.90%

共通KPI

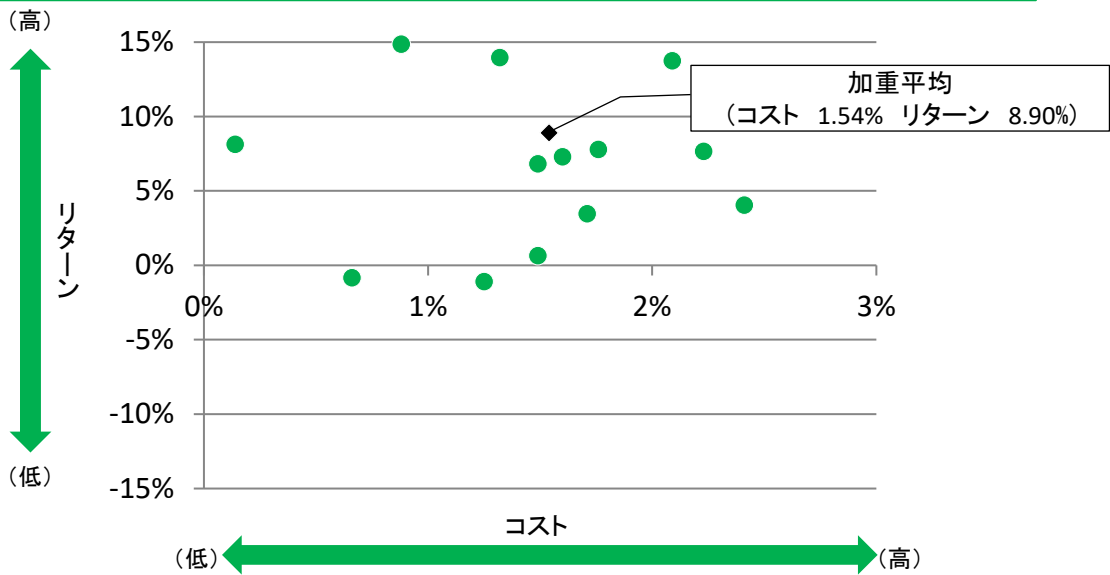
投資信託の預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン（2022年3月末時点）



投資信託の預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン（2023年3月末時点）

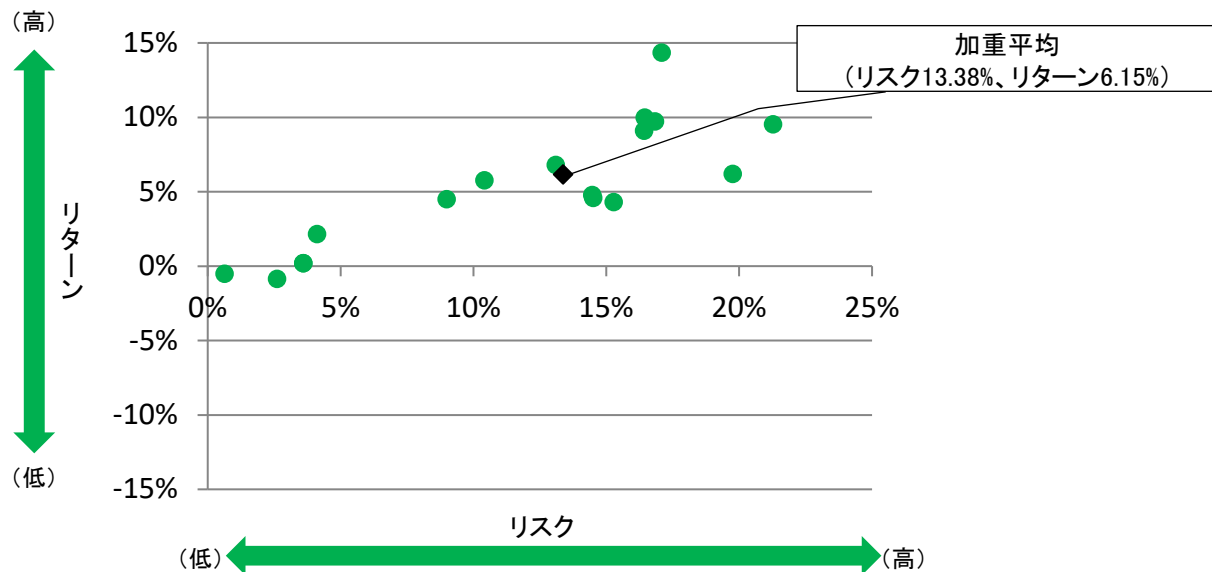


投資信託の預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン（2024年3月末時点）

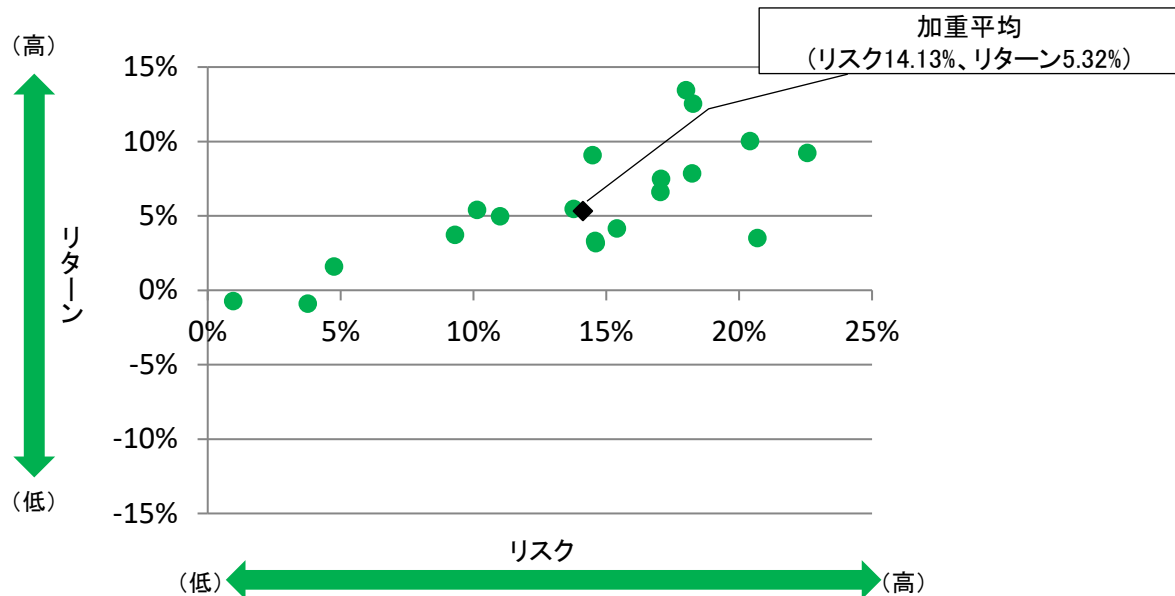


共通KPI

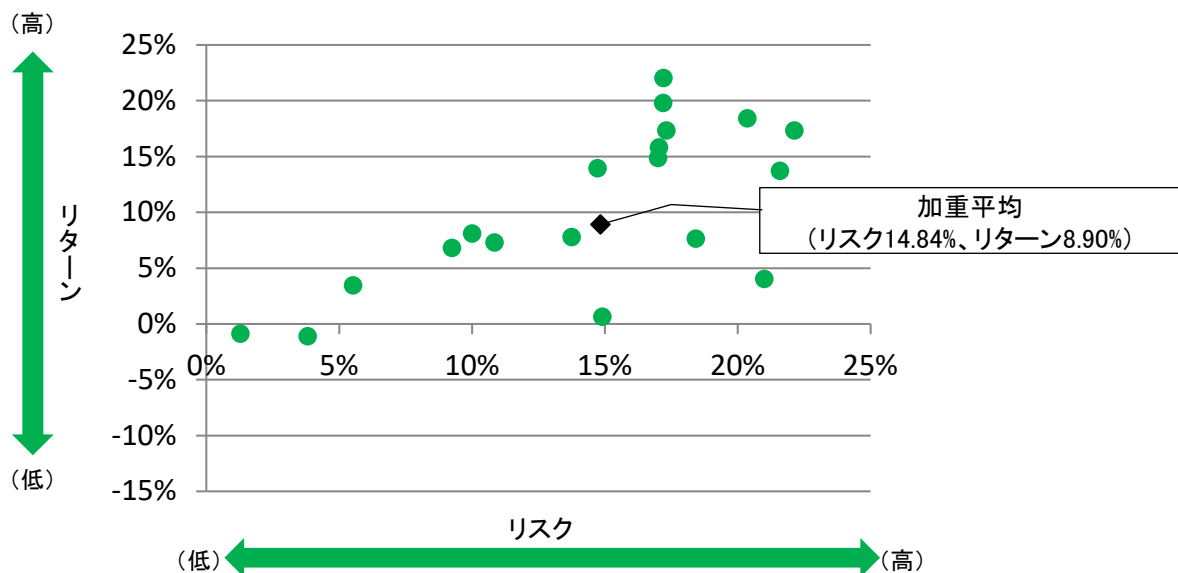
投資信託の預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン（2022年3月末時点）



投資信託の預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン（2023年3月末時点）



投資信託の預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン（2024年3月末時点）



- ・投資信託預かり残高上位20銘柄のうち、設定後5年以上の投資信託について、コストやリスクに対するリターンを表示しています。2024年3月時点の平均コスト1.54% 平均リスク14.84%に対し、平均リターンは8.90%となりました。
- ・上記数値等は、あくまで過去の実績であり、将来の運用益をお約束するものではありません。

資産運用セミナーの開催

2023年度の資産運用セミナーについては、全体やブロック別だけではなく、お取引先等を中心に個別でも開催いたしました。（回数：70回、参加者：257名）

ファイナンシャル・プランニング技能士取得者数

（単位：名）

	FP1級	FP2級	FP3級	合計
資格取得者数	4	115	5	124

証券外務員二種取得者数

営業店所属の正職員の取得率は100%となっています。

当金庫は、お客さまの多様なニーズにお応えするため、公的資格取得・職員向け研修・勉強会を通じて、専門的な知識を習得し能力向上に努め、お客さまの資産形成および資産運用のサポートを実践し、信頼に応える職員の育成に努めてまいります。